

小規模企業景気動向調査

[平成25年3月期調査]

～全業種で改善となったが、懸念材料も多い小規模企業景況～

2013年4月30日
全国商工会連合会

<調査概要>

調査対象：全国約300商工会の経営指導員

調査時点：2013年3月末

調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

<産業全体> ◇…全業種で改善となったが、懸念材料も多い小規模企業景況…◇

3月期の小規模企業景気動向調査では、産業全体の業況DI(景気動向指数・前年同月比)は、▲20.5ptで前月から6.1ptと大幅に改善した。一部では、春を迎え地域においても景気改善の兆しがうかがえるとの声があるものの、全般的には景気回復の波は及んでいないとの声が多い。金融円滑化法の終了間際ということもあり、条件変更や借換えの駆け込み相談や申込みがみられた。金融機関の貸出姿勢に大きな変化はないが、借入申込み時に金融機関から提出を求められる書類が増え、企業の借入意欲が低下しているとの声が聞かれた。円安や原材料高など懸念材料もあり、先行きは楽観できない。

<製造業> ◇…自動車・機械関連が好調で、回復基調の製造業…◇

製造業DIは▲18.1ptで、5.1ptの改善となった。円安の影響から、自動車部品関連は、引き続き受注が好調であり、機械部品関連では売上が増加傾向にある。水産関連は、取引先の拡大や漁の開始により堅調であった。食品関連では、卒業や就職等の行事や、行楽シーズンの到来で、売上は持ち直したが、円安で輸入原材料の価格が上昇しており、収益が増加するには至らない。機械金属関連は、受注は増加傾向であるが、単価の引下げや短納期でコストがかかる注文が多く、採算は厳しい。

<建設業> ◇…公共事業の年度末発注などで、引き続き好調な建設業…◇

建設業DIは▲2.8ptで、4.2ptの改善となった。公共工事は、年度末で受注が増加し多忙であった。住宅建築やリフォーム関連では、消費税率の引上げを前に受注が増加している。受注好調により、新たに設備投資を行う事業所もみられた。一方、発注はあるが見通しが不透明なことから、職人を増員せずに外注するため、コストが増加し収益が圧迫されているケースもみられる。建築資材の高騰や職人不足を懸念する声が聞かれた。

<小売業> ◇…依然厳しいが、季節要因で持ち直した小売業…◇

小売業DIは▲33.8ptで、4.4ptの改善となった。年度替わりで、入学等の新生活関連の消費が伸びた。衣料品関連は、平年より気温の高い日が多く、春物が好調であった。食料品関連では、一部で消費マインドが改善しつつあるとの声が聞かれた。大型店への消費の流出、後継者不足等、経営環境は依然厳しく、廃業が増えている。小麦等の原材料費や原油価格の高騰により仕入価格が上昇しているが、競合店との価格競争のため、上昇分を販売価格に転嫁できず、採算はとれていない。

<サービス業> ◇…春の行楽シーズンに入り、悪化から一転、大幅に改善したサービス業…◇

サービス業DIは▲27.5ptで、10.3ptと大幅な改善となった。宿泊関連は、春の行楽シーズンに入り、好天に恵まれたことから好調だった。高速道路開通の効果により、客数が増加した地域もあった。理美容業は、卒業式等行事が多い時季であり、来店客数が増加した。飲食関連では、送別会等で客数は増えたものの客単価が低く、売上の増加にはつながらないケースが多い。クリーニング業は、原油価格の高騰から洗剤の仕入価格が上昇し、採算がとれず苦しい。今後の燃料、原材料費の上昇を懸念する声が多く聞かれた。

業種	産業全体			製造業			建設業		
	2月	3月	前月比	2月	3月	前月比	2月	3月	前月比
売上額	▲23.8	▲16.0	7.8	▲18.1	▲12.2	5.9	▲3.7	4.6	8.3
採算	▲28.0	▲20.4	7.6	▲24.8	▲20.3	4.5	▲17.7	▲7.7	10.0
資金繰り	▲23.9	▲19.0	4.9	▲22.5	▲17.0	5.5	▲14.6	▲11.3	3.3
業況	▲26.6	▲20.5	6.1	▲23.2	▲18.1	5.1	▲7.0	▲2.8	4.2

業種	小売業			サービス業		
	2月	3月	前月比	2月	3月	前月比
売上額	▲37.3	▲31.4	5.9	▲35.9	▲25.0	10.9
採算	▲35.7	▲30.5	5.2	▲34.0	▲23.1	10.9
資金繰り	▲31.3	▲27.3	4.0	▲27.5	▲20.5	7.0
業況	▲38.2	▲33.8	4.4	▲37.8	▲27.5	10.3

注) DI(景気動向指数)は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。